

児童も先生も学び続け、変わっていく学校づくりを進めます。

あい
愛
心豊かで

がく
学
よく考え

けん
健
自主性と実践力に富んだ子ども

北八下小学校 校報

令和7年9月30日発行

10月号

子どもたちの挑戦を支える「実りの秋」

暑さも少しはやわらぎ、秋を感じる季節となりました。実りの秋は、子どもたちにとっても「心の実り」を手にする時期です。本校では10月に多くの行事が予定されています。5年生は臨海宿泊学習、6年生は堺市連合運動会や代表として6名の堺市民オリンピックへの参加、4年生は堺市連合音楽会での発表、2・3年生は「まち探検」、さらに土曜参観や校外学習もあり、子どもたちは日ごろの学びを試し、仲間とともに新たな経験を積み重ねる日々を送ります。

こうした行事は、単なる「思い出づくり」ではありません。子どもたちが自らの力を試し、仲間と協力し、達成感を味わう「成長の場」です。

臨海では、親元を離れて生活する中で不安を乗り越えて「自分でできる」という自信を。堺市連合運動会では、勝ち負けだけでなく「練習を含めて最後までやり抜く力」を学び、学年の結束力を高めます。

堺市連合音楽会では、仲間と声や音を重ね「一人ではできない表現の喜びと協力の喜び」を体験します。

まち探検では、地域の方に出会い、学び、「多くの人に支えられている自分」に気づきます。

一つひとつの経験が、子どもたちの心に確かな実りをもたらしてくれるはずです。

行事一つひとつに、子どもたちを大きく育てる意味が込められています。

しかし、その力が育まれるためには、日常の積み重ねが欠かせません。時間を守る、あいさつをする、役割を果たす、友だちと力を合わせる——こうした普段の学校生活の姿勢こそが、行事での輝きにつながります。

そして、その挑戦をさらに力強く支えてくださるのが、ご家庭の温かな応援です。

出発前に「準備できた？ 大丈夫だよ」と安心を与える言葉。

挑戦へ向かうときに「思いきりやっておいで」と背中を押すひと言。

帰宅後には「よく頑張ったね。どんなことがあったの？」と耳を傾ける姿勢。

これらの言葉や態度が、子どもたちに「自分は見守られている」という心の支えを与えます。子どもたちはその支えを胸に、行事で力を発揮し、自信を深めていきます。

10月は、行事が続く分、子どもたちにとって心も体も大きなエネルギーを必要とする一か月です。生活リズムの乱れや疲れが出やすい時期でもあります。どうか早寝早起きや健康管理にご協力いただき、子どもたちが挑戦に向けて力を十分に発揮できるようお支えくださりますようお願い申し上げます。

「やってみたらできた！」——その経験が、子どもたちを強くし、次の一歩への自信になります。保護者の皆様、地域の皆様、そして学校が力を合わせることで、子どもたちの挑戦は大きな実りとなって返ってきます。この秋、子どもたちが心から誇れる成長を遂げられるよう、共に歩んでいきたいと思います。



10月11日（土）は各地域で秋祭りが開催されます。

10月25日（土）土曜参観（PTA 交流会、お迎え訓練含む）

※10/31（金）代休